

指定管理者に関する第三者評価シート

1 施設の概要

(評価実施年度: 令和 1 年度)

施設の名称	東大阪市立埋蔵文化財センター			指定期間	30	年度～	2	年度	
				選定方法	公募				
				指定管理者名	公益財団法人東大阪市文化振興協会				
所管部課名	社会教育部文化財課			評価機関名	株式会社ブレインファーム				
施設の設置目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともにその活用を図り、もって市民文化の向上に資すること			主な事業	資料の展示				
設置時期	平成	14	年度						
主な料金体系 (有料・無料等)	無料								

2 管理運営状況等

年度	実績						今年度(予算)		次年度(見込)	
	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	
供用(開館)日数	303	306	303	-	-	-	-	-	-	
収支状況 (千円)	収入総額	19,064	18,926	16,283	16,320	16,333				
	指定管理者委託料	19,064	18,926	16,283	16,320	16,333				
	利用料金収入	0	0	0	0	0				
	自主事業収入	0	0	0	0	0				
	その他収入	0	0	0	0	0				
	支出総額	19,064	18,950	15,974	16,320	16,333				
	人件費	8,922	9,058	7,110	7,237	7,174				
	施設維持管理費	6,205	6,274	5,846	5,827	5,879				
	事業費	2,729	2,559	2,288	2,520	2,537				
	その他支出	1,208	1,059	730	736	743				
収支差額	0	△ 24	309	0	0					

3 第三者評価の総括

仕様書等の基準を超えて優良な場合は「S」
 仕様書等の基準通り実施された場合は「A」
 仕様書等の基準を下回り、一部に不備が見られる場合は「B」
 管理運営上不適切な部分があり、改善が必要な場合は「C」

評価の観点	第三者評価(評価できる点や要改善事項)		
	個別評価 S A B C	指定管理者に対する 主な意見	施設担当課に対する 主な意見
有効性 施設の設置目的が十分に達成出来たか？	A	協定書等のおおりに施設が開館し、指定事業が実施されている。 職員は来館者の状況にあわせて丁寧な対応を行っており、利用者満足度は極めて高い。 入館者数はやや減少気味であり、平成30年度の体験学習参加者数は前年度に比べ大きく減少している。法人本部ならびに施設担当課と課題を共有し、利用促進策を検討していただきたい。	利用促進における課題を指定管理者と共有し、広報面での対策を実施していただきたい。
効率性 経費の低減等の効果があったか？	A	市の委託料は年々減額が実現できている。 節水・節電、製作物の内製化など経費低減の努力もなされている。 法人本部の人員を活用して広報活動が行われ、一括受託している他施設と運営面で協力するなど、運営の効率化が図られている。	費用低減が利用者サービスの低下を招くことのないよう確認していただきたい。
適正性 公の施設に相応しい適正な管理運営が行われたか？	A	事業計画に沿って管理運営が実施されている。 人員配置や再委託についても問題はないと思われる。 関係法令、条例等を理解し、必要なマニュアル類を整備して職員に周知している。 事業報告も適正に実施されている。	今後も定期的に確認していただきたい。
継続性 財務状況 財務健全性が確保され、適正な会計処理が実施されているか？ 労務管理状況 職員の労働環境整備に向けた適切な取組みが実施されているか？	A	法人の財務状況に特段の課題は見受けられない。 指定管理者として適正な会計処理が行われている。	会計処理は適正に行われており、事業継続性から見た財務状況に問題はないと思われる。
	A	適正な水準で労務管理が実施されており、労務リスクにより指定管理者の業務に支障をきたす可能性は低いと思われる。	事業の継続性から見た労働環境の整備は適切と思われる。
今後期待される点や その他特記事項	最終評価 A	事業計画に沿って管理運営が適切に実施されている。利用者の満足度は極めて高く、サービス向上の取組みもなされている。利用者促進については、法人本部ならびに施設担当課と課題を共有し対策を講じていただきたい。	